



5月14日・当小遠足の一コマ

とうべつ 議会だより

おもな内容

- ▶ 平成 8 年度町政執行方針……………2～4
- ▶ 総括質問……………4～9
- ▶ 平成 8 年度予算審議 ……………9～16
- ▶ 議案審議……………17
- ▶ 一般質問……………18～23
- ▶ 委員会報告、請願・陳情……………23



平成8年度執行方針

地域の特性を生かし 人間性豊かな地域づくりに 勇気と気概をもって町政執行を 第2回定例会

町長の所信表明要旨

平成八年三月八日(二十一日迄の十四日間、第二回定例会が開催され、開会初日に町長、教育長より「伝統を生かし、心ふれあう、緑豊かな田園都市」の実現を目指して、所信が表明されました。



〔行財政の運営〕

行政経費の節減・合理化・財源の重点的効率的な配分に徹し、節度ある財政運営を行う。

〔防災対策〕

地域防災計画の全面見直し、町民による自主防災組織の育成など防災活動の活性化や意識の高揚に努め、また、消防行政施設整備や機能体制を強化し、予防行政を進める。

〔交通安全対策〕

地域、事業所、学校などと連携を取り、大会などを計画するとともに広報、啓発活動や交通安全教室を開催し交通

安全意識高揚に努め、また、信号機など交通安全施設の整備、充実のため、関係機関への要請や道路管理者とも連携を密にする。

〔町民参加〕

町民の意見や提言を取り入れ公平、公正な行政を執行するため「広聴箱」の活用や「町政懇話会」の開催により開かれた町政を推進する。

〔人材育成〕

「町づくりは人づくり」の視点に立ち、将来を託す中核的リーダーを養成する。

〔公的交通〕

JR学園都市線の利便性向上や、青山線のバス運行を利便性優先の運行に努める。

〔当別ダム対策〕

補償に関する未調査部分の

〔道民の森〕

道に対し、今後とも全施設の早期完成を要請する。

〔国際交流〕

スウェーデン交流センター、当別・レクサンド都市交流協会等と連携し、町民と密着した国際交流を進めながら、国際化に対応できる町民意識の高揚に努める。

〔町名整備〕

町民の皆さんのご理解をいただき、本町市街地付近を整備し、新しく町民になられた方などにもわかりやすい町づくりに努める。

〔北海道医療大学〕

大学が持つノウハウを、町民が享受できる環境づくりに努める。

〔保健対策〕

健康づくりから疾病予防、リハビリテーションまで一貫した保健サービスを進め、在宅ケアの推進や訪問指導の充実にも努める。又、町民がいつでも安心して医療を受けることができるよう努める。

〔衛生関係〕

ゴミの分別収集、リサイクルの推進、河川、側溝の清掃墓地整備を進める。

〔高齢者対策〕

老人保健福祉計画を推進すると共に、在宅サービス推進のため、ホームヘルパーの増員や当別町いきがい人材センターの充実に努める。

〔障害者・母子対策〕

自立と社会参加の一助となる諸施策を引き続き実施する。

〔幼児保育対策〕

施設整備と保育所機能の充実に努め、地域に適合した保育事業を目指す。また、新たに障害児保育に取り組む。

〔国民健康保険事業〕

税負担能力を考慮した課税を行うとともに収納率向上に

魅力ある街づくり

〔公的交通〕

JR学園都市線の利便性向上や、青山線のバス運行を利便性優先の運行に努める。

〔当別ダム対策〕

補償に関する未調査部分の

〔保健対策〕

健康づくりから疾病予防、リハビリテーションまで一貫した保健サービスを進め、在宅ケアの推進や訪問指導の充実にも努める。又、町民がいつでも安心して医療を受けることができるよう努める。

〔衛生関係〕

ゴミの分別収集、リサイクルの推進、河川、側溝の清掃墓地整備を進める。

〔高齢者対策〕

老人保健福祉計画を推進すると共に、在宅サービス推進のため、ホームヘルパーの増員や当別町いきがい人材センターの充実に努める。

〔障害者・母子対策〕

自立と社会参加の一助となる諸施策を引き続き実施する。

〔幼児保育対策〕

施設整備と保育所機能の充実に努め、地域に適合した保育事業を目指す。また、新たに障害児保育に取り組む。

〔国民健康保険事業〕

税負担能力を考慮した課税を行うとともに収納率向上に

努め、医療費増高に対応する諸施策を実施する。

〔農林業の振興〕

栽培技術の確立、機械の有効利用による生産性向上の指導、防風網の設置や土壌透水性改善の機械導入助成、地域特性作物振興事業の実施、農業農村整備事業の促進、畜産の計画的・効率的生産体制の確立、森林の整備推進や緑の募金の体制整備に努める。

〔地籍調査〕

昭和五十一年度から実施した地籍調査は、昨年度終了し今後は維持管理とともに、調査後の異動情報処理を実施する。

〔観光行政〕

既存観光資源の環境整備と地域産業との連携を密にし、広域観光の振興と町のPRに努める。

生活実感のある街づくり

〔商工業行政〕

当別町商工会まちづくり委員会の意見を聴き、活力ある町づくりに取り組む。また、中小企業特別融資制度の普及や、国道二七五号方向から町道本通線へ通じる橋の建設を進め、商店街の環境整備や販売力の確保、商工業の活性化を進める。

〔労働行政〕

商工業従事者の永年勤続表彰、労働講座の開設、冬期雇用援護制度の充実を図る。

〔治水事業〕

当別ダムの事業促進、国・

〔道路事業〕

道央新道当別バイパスの事業促進要請、国道二七五号、三三七号、四五一号の拡幅や歩道整備を国に要請し、町道については、建設者や農林水産省の補助制度を取り入れながら計画的に整備を図る。

〔除雪対策〕

除排雪体制の充実、防雪柵の整備に努める。

〔住宅対策〕

春日団地建替事業の計画的推進。

〔都市計画事業〕

西部地域の都市計画道路や公園の決定、公園緑地の整備都市計画道路の整備推進、当別駅周辺整備事業の推進。

〔当別大通整備計画〕

幸町地区土地区画整理事業及び街路事業区間の早期実現に努める。

〔水道事業〕

上水道未普及地域の解消、老朽配水管更新事業の継続。

〔下水道事業〕

汚水処理補助対応区域拡大のための、実施設計着手、雨水施設の整備。

〔教育・文化・スポーツ〕

学校教育の充実と社会教育の推進、いじめ問題への取り組み、学校給食の食事内容の充実、教育用コンピュータの導入、ハンディキャップを負っている子供たちの、障害の程度や発達段階に応じたより良い環境整備、西当別地区からの通園バスの運行(仮称)西当別コミュニティセンターの建設着手、文化センター建設の早期実現、各種スポーツ教室等の開催。

教育長の所信表明要旨

〔学校教育〕

豊かな心やたくましい実践力を養えるよう創意と活力に満ちた教育の推進。

〔いじめの問題〕

指導体制の強化とともに「大人が必ず守る」というメッセージを送り、大人も子供も温かい心の絆で結ばれる環境づくりを目指す。

〔国際交流学习〕

国際交流学习の一層の充実と外国人英語講師招へいによる英語教育の充実を図る。

〔複式教育〕

集合学習、交流学习を実施し、複式教育の充実を図る。

〔特殊教育〕

障害児一人ひとりの可能性を伸ばすための教育活動を推進母子通園センター事業の充実を図る。

〔幼稚園教育〕

幼児が安定した情緒の下、自己を十分発揮できる環境の整備と、主体的な活動を促し

人間形成の基礎となる資質や能力を育成するよう努める。

〔教育施設の整備〕

老朽木造校舎の解消等教育環境施設の整備充実。

〔学校給食〕

バランスの摂れた栄養豊かな食事の提供、衛生管理の徹底に努める。

〔社会教育・生涯学習〕

魅力ある学習機会を拡大し、町民が学習意欲を高め、ふれ合いや交流を深め、生きる喜びを分かち合うことができる地域づくりを目指す。また、学習活動支援のため、本年度から生涯学習推進アドバイザーを配置する。

〔青少年の健全育成、青少年、婦人、高齢者教育〕

少年国内研修、婦人国内研修の実施、青年ヨーロッパ研修の派遣、ことぶき大学を開催、プレイハウス指導員を増員し、校外生活の健全化に努める。

〔文化活動〕

文化講演会等の開催や、公民館教室、各種サークル活動を通し学習活動を促進、文化センターの建設促進に努める。

〔スポーツの振興〕

各種スポーツ教室の開催、スポーツ団体の援助、指導者の育成強化やファミリースポーツ普及に努める。又、中小屋スキー場の斜面整備測量

調査を実施し、改修に努める。

〔社会教育施設〕

(仮称)西当別コミュニティセンターを今年度から着工し、九年度完成に向けて建設を進める。

町政執行方針に対する
総括質問 四議員が登壇

住民サービス向上に
庁舎増築等の考え方は

村上 弘志 議員

ることを懸念して、平成五年九月議会において「庁舎の増築などを検討する時期に來ているのでは」と質問したところ、町長は庁舎内に関係部課長を配置した検討委員会を設け、早期実現に向け検討すると答弁されたが、今日まで二年数カ月を経ているが、その後の検討経過を明らかにしていただきたい。

行政機構の見直しは
問 多様な住民要求を果す立場から、行政機構の見直し、また、役場の庁舎の手狭から住民サービスの欠如につなが

町長 現在の地方財政を取り巻く環境は、極めて厳しいものがあるが、自主的、主体的な行政運営全般にわたり、点検を行い、効率的、かつ的確な運営を図っていく為、平成八年度より庁舎内に、行財政検討委員会を設置し、広く町民の意見を聞くため、町民の代表からなる検討委員も設置して検討したい。

次に、役場庁舎の増築の件だが、部課長会議等で数度にわたり検討しているが、私は住民要望が第一と考え対応している。財政的な問題もあり、いまだ結論が出ていないのが現状である。

早急に第四次総合計画を

問 当別町第三次総合計画の策定当時に比べ、予想されないう急激な変化をもたらししている。今日の人口動態を見るとき、本格的なまちづくりを目指さなければならぬと思う。

私は、今小手先だけの手直しではおさまらない事態を迎えていると思う。当別町第三次総合計画の途中ではあるがここで一たん打ち切り、新たな視点に立った第四次総合計画を抜本的に打ち出した方が整合のとれたまちづくりになると思うが、見解を伺いたい。

町長 第三次総合計画は、平成四年度にスタートし、五年目であること。

また、見直しには、二年度の期間が必要なことから、



手狭な役場庁舎

本年度から見直そうとしている総合計画については、村上議員発議の意図を踏まえ、基本的な整理をする中から、今後設置しようとしている審議会の意見を伺いながら、新しい総合計画の策定に向け、取り組んでいこうと考えている。

役割は

問 当別ダム現地連絡協議会の

連絡協議会が、主体的な役割を果たす機構と認識をしていたが、平成七年度は、一度も開催されていないのはなぜか。協議会を開催せずに、当別町と北海道との折衝は、機構上からして理解できない。協議会の一員として、今後どのような役割を果たしていかたい。

また、本年度は、補償基準の妥結を目指す、必要な用地調査、物件調査、さらには、九年度に向けたつかけえ道路着工着手に向けた準備作業などが想定をされているが、予算規模を含め、どの程度まで進められるのか、伺いたい。

町長 本協議会の目的は、当

別ダムの建設に係る関係住民及び関係地域の諸問題について、連絡協議会を行うことである。平成七年は、事業の促進を図る上で、かぎとなつてい重要な山場の年であり、早期解決に向け、北海道と事務レベル協議などを重ねてきたが道としても、地域振興事業を目標に置き、さらに道内部で協議をしている。いずれにしても、大きな事業であり、基本的な内容が整理された段階で、本協議会が開催されると考えている。

又、本協議会の一員としての役割ですが、多目的ダムの利水及び、かんがい等のメリツト、さらには水源地域となる立場から、その役割を果たしていきたいと考えている。

次に、平成八年度予算等についてであるが、予算規模は七億円と聞いている。進捗予定は、水没予定区域の確定並びに補償調査の完了に合わせ、補償基準妥結を目指している。労働基準法改正を行政としてどう指導するのか

問 パブル経済崩壊後の中高年齢層の解雇や新規採用者の中止など顕著な状況があらわれているが、本町において、当別高校の就職状況はどう

なっているか。

次に、平成九年四月一日以降、労働基準法による法定労働時間は、週四十時間がすべての企業に実施されることが義務づけられる。あと一年に迫った法改正に合わせて行政は、どのような指導をしているのか。又、事業を発注する立場から工事期間、設計、労働単価の変化等々、どのような対応されてきているのか伺いたい。このほか、建設業退職金制度の問題や有給休暇の問題など、行政において積極的な対応を図り、恵まれない季節労働者の雇用条件の向上のために一層の努力をお願いしたい。

町長 当別高校の就職状況は、二月末現在で就職希望者

一二十七名に対し、就職決定者八十一名で就職率は約六三・八%となっている。

次に、労働時間短縮についての行政指導だが、石狩支庁など関係機関より町及び、商工会に連絡があり、町としても商工会を中心に企業者への周知方に努力している。又、町発注の工事についてだが、請負工事における設計単価は、北海道が道内各地の地域別価格を調査し、設計単価を定めており、道内市町村は、この北海道が定めた価格を用いて工事費の積算を行っている。

北海道が定める歩掛かり単価は、当然各種の法令等で定められた諸条件を満たす内容で定められている。昨年の歩

掛かり単価は、完全週休の考え方で定められているが、今後においても法令に見合う改正がされると考えている。

教育行政について

問 教育長の所信の中で、地域の開発状況、動向を見きわめ、今後各地域の方々と十分協議し、将来を見きわめた中から学校の適正配置、適正規模、施設の近代化ということから進めたいと述べているが、これまでの適正配置として統合を視野に入れて、進めてきた従来の方針から、一歩後退した感がぬぐえないが、改めてその真意を聞きたい。最後に、この数年さかのぼって教育行政を検討するとき、事故や事件が多発している感じである。管理機構上から何

か欠如しているところがないのか。町長及び教育委員長として、どのような認識と見解をお持ちか、伺いたい。

町長 教育委員会の事故、事件については、町民に大変ご迷惑をおかけしましたことについては、おわびを申し上げます。今後は、私としても、再発防止に万全を期するよう努力していきたい。

教育委員長 教育委員会として非常に残念であり、町民の皆様は心よりおわびをしているところである。このことを教訓として、再びかかる不祥事を起こさないよう管理体制の見直しと指導の徹底を図っていきたい。

教育長 老朽木造校舎の解消複式学級の解消のため、当別

ためにもどこを見直すか、明確にしなければならぬ点を伺いたい。

又、高齢化や住民生活の多様な今日、一回の懇話会でどれ程意見を聞けるのか。所詮は形式主義になっている。今日ほど住民生活が質的变化した時代に、行政が敏速な対応をするには、住民自身に町内

毎の地区計画をつくらせることではないか。四十三駐在区が夫々住民自治の基礎単位と

川南側に適正規模の学校を建築するよう第三次総合計画に盛り込まれていますが、東裏、蔵岱、川下の三校の児童数は減少傾向にあり、統合校をつくっても、各学年が十人以下で、複式学級を想定する数である。また、当別小学校の校区である当別川南地域の子供の推移は、平成八年から平成十二年までの五年間で一三九人から一六六人の間が見込まれ、徐々に減少する傾向にある。しかし、宅地造成などで当別川南地域は、大きく変わり、児童数は増加することも予想される。このような動向を見きわめながら、学校の適正配置、適正規模、施設の近代化ということから計画を進めたいと考えている。

なって、地域計画算定に各町内会が子供の意見を含めて、出来上がったものを総合的に審議会が検討する形が良いと思う。

都市計画法のマスタープランづくりも農村の整備事業もこの手法を実践している所がある。

町長 人口想定の見直しをするところは、前段村上議員にお答えしたところですが、主要指標である人口を見直すこと

町内会毎に 地区計画を

泉亭 俊彦 議員

第四次総合計画の必要性は
問 所信では、第三次の総合計画を見直すと言われました

が、先ほどの答弁では、新しい計画を策定するものだと答弁があった。もし、計画全体

であれば、私も第四次総合計画の必要性があると思う。しかし、見直しという施政方針の要旨から考えると、一部であれば、行政の執行者として、問題点をはつきり示すべきではないか。どういうものを、どう見直すのかということ

は、作成に当たった多数の町民の皆さんのその労にこたえるためにも、町民が、みんな手伝えるような、協力しあえるような、そういうこと

は新しい総合計画の策定につながるものと判断をしている。

又、町民参加による計画的なまちづくりについては、従前住民懇談会、住民意向調査、青少年の作文募集などを行い策定したが、新しい総合計画については、さらに、地域計画をお聞きかせいただいたことから、とり進めていきたい。

西部地域の公園は、補助率の高い農村総合整備事業を

問 居住地域を都市計画事業で整備することは、私も理解できる。わずか、五〇%以下の都市計画事業による都市公園を考えるよりも、農業振興地域で少なくとも七〇%以上の補助率で、農村公園を造成する農村総合整備事業があり、用途地域の隣接地に、農村景観の中に広い公園を計画することが、住民ニーズにこたえることではないか。

又、この地域の公共下水道は、いつ供用開始できるのか。公園と下水道事業この二点があはつきりしなければ、開発行為についても申請すること、公園、住宅地としてのグレード、また、コストそういう面に少なからず影響があるのではないか。この点の考え方も説明を願う。

町長 都市としての基盤等環境を整備するためには、道路、公園、下水道を初め、河川や公共施設の配置を考慮に入れて計画をしなければならぬと考えており、これらの都市施設の一体的な整備を行うには、都市事業として進めることが、総合的に有利であると考え、長期的に継続したまちづくりや事業拡大が図られるものであると確信している。

又、公共下水道事業は、平成八年度に認可を取り、整備を進め、平成十一年度末までに、供用開始する計画である。

民活、国、道の支援を積極的に取り入れた事業運営

問 町が、せっかく立てている総合計画を着実に実行していくために、民活、つまり民間の力の活用と、国や道の支援が、どう得られるかということではないか。

数億円の本通橋やコミセンを町単費で建設する行政は、非常に珍しいと、私は思っている。

次に、国は、中山間地域の整備事業で河川の整備事業などで無理な無名川や沢の整備に実に八五%の補助金を出して、中山間の条件不利地域の整備を進めている。長年の懸



仮称 本通橋建設工事

案であるガンビ沢川の整備などは、町費では、とても無理なこと、中山間地帯総合整備事業で、災害対策を立てることができないのではないか。

特に、この事業は過疎地域法など四法の対象外でも、活性化計画を立てると、構造改善局長が認めたものは、採択するということになっており、当別町では、十分該当するものであるから、施設も含めて活性化計画を立て、住民の要望を満たすために、十分に中山間地域総合整備事業を研究する必要があると思う。

町長 (仮称)西当別コミュニティセンターは、自治省採

択によるまちづくり特別対策事業により、取り進めているが、単独事業ではあるものの、利子を含めて起債償還額の五五%が交付税算入される制度であり、あわせて完成年度の九年度に、道の振興補助を受けるべく、取り進めている。

また、農業農村整備事業制度の効果的活用に、行政負担の軽減も含めた農村環境整備に対する提言だが、平成二年八月一日付で制定の中山間地域総合整備事業の北海道の判断では、山村、過疎、半島、離島振興法の四法指定市町村が採択基準に該当するのとこのことである。

又、同採択基準に準ずるとの一項があるが、その内容は、四法と同等の指標を有することであり、現段階で道の判断としては、当別町は人口急増地域であり、該当は困難と見ている。

なお、現在この運用に当たり、全国的に緩和の要望があり、農林水産省でも検討をしているとの情報を得ているので、十分研究したい。

各種審議会、委員会の委嘱について

問 当別町に設定されている審議会や各種の委員会は、たくさんあるが、特定の人が委

嘱されるケースが多過ぎると思う。より多くの町民が関心を持つように、より多くのノウハウを、行政が吸収できるようにすべきではないか。特定の委員の代表や、特定の議員の意見を長く参考にするよりも、広い範囲の、そして常に新しい人の意見を聞くことが、町長の言う開かれた行政ということになると思う。私は、十二月に町民の公僕であり、全体の奉仕者である町職員を、町長の感情や政治勢力に流された人事はないか町長に伺った。

又、駐在員制度も公平に活用しているか、どうかを尋ねた次第である。正義が行われなければ、行政は、言葉や文章だけでは決して、活力は生まれないと考える。町長の全体的な考え方を答弁として、求める。

町長 私は、その委員会設置の目的、性格等を判断して、委員の委嘱をしている。

更に、人事配置等については、多様な住民要望を基本に、機構、配置等を検討措置し、新年度に向けては、駐在員の関係についても、役員の方々と相談をしながら進めている。

高齢者対策としてシルバーヘルパー等考えられぬか

林 義夫 議員

大切な生きがいづくりと言え
るが、町として、高齢者対策
は、このようなソウト面を開
拓していくべきと思うが、補
助制度をぜひ生かして、早く
いろいろな高齢者対策を進め
るべきと考えるが。

将来は、人材センターに介
護のノウハウを享受して、シ
ルバーをヘルプする、シル
バーヘルパー制度を作ってい
くべきで、既にそういう先進
的な自治体もあると聞くが。

町長 保健、医療、福祉の連
携はもちろんのこと、老人保
健施設や老人ホームのノウハ
ウを取り入れ、積極的な活用
を図りたい。

また、生きがいづくりのた
め、生きがい人材センターや
ことぶき大学等の加入を働き



老人憩の家の活用を

問 高齢者対策の推進を
設があつて初めてできるもの
ではなく、むしろ施設はなく
とも種々のソウト、手法を駆
使することによって、十分に
効果を上げることが出来るこ
思うが、町で行なわれている
当別町生きがい人材センター
などの活用、あるいは、生涯
学習としての「ことぶき大学」
等は良い例と考える。
お年寄りが自らのキャリア
や、種々の手にしてきた技術
を生かした人材センター、あ
るいは、明るく、健やかに老
いるための手段を求める高齢
者にとって健康大学は極めて

かけるとともに、高齢者の方
にも互いに介護の仕方を学ぶ
ための、介護教室などの開催
も検討したい。

基本健診を通年実施に
問 成人病予防の当町におけ
る基本健診、これが残念なが
ら、フルシーズン受益者に開
放されていない。このことは
近隣自治体の大方が、フル
シーズン可能であることを比
較しても、著しく対応がおく
れているが、是非、再考をお
願ひしたい。

次に、在宅歯科医療検診も
年々拡大され、町でも昨年五
月来、医療大学に委託して行
なわれているやに聞いてお
り、しかし、町内には六件の
民間歯科診療所があるが、こ
れら歯科診療所に参加を求め

て、それぞれの呼びかけを行
ない、あるいは意志確認をす
る等、アンケートをすべきで
あると思うが。

町長 本町における基本健康
診査等については、当別町医
師会の協力を得、各種保健事
業を推進し、早期発見・早期
治療に努めてきており、今後
住民のニーズを含め、医師会
と十分協議を行ない検討した
い。

なお、寝たきりの在宅歯科
診査事業については、医師会
歯科医師会とも協議をし、現
在のところ北海道医療大学に
委託をして実施している。

西当別地区の幼児保育対策
は
問 子供数の増えている西当
別地区に施設の新設等町とし

町民こそ主人公の町政を 更に発展させるために

堀 梅治 議員

町民の今置かれている現状
は
問 本年度の一般会計予算、

特別会計も含めて検討した
が、国の政治の中で弱者にし
わ寄せがいく、それを緩和し

ての計画があるのか。
もしないとすると、国が推
進するエンゼルプランの中で
当民間委託やら、助成やら
の方針や方法を考えているの
か。
町長 西当別地区の子供の増
加と保育ニーズの多様化から
西当別へき地保育所を、常設
保育所にする様計画している。
また、平成八年度から、障
害児保育を東保育所で実施す
るとともに、西当別へき地保
育所において、若い母親と子
供を対象とした、子育て支援
事業を開催することとしてい
る。
なお、民間委託や助成につ
いては、現在、考えてはいな
いが、今後の課題としていき
たい。
ようとす町行政が、今強く
求められているときに、不十
分であるが、苦しい財源の中
でそれらに手当をしているこ
とについて、一定の評価をす
ることが出来る。
町民の今置かれている現状
認識を町長は、どうとらえて
いるのかということを知りたい
い。と申しますのは、住専の
問題や道では官官接待、不正
流用の問題等、そういう状況
の中で、当別町の町民の働く

人たちは、どんな状況に置かれていたのか。お年寄りほどんな状況に置かれていたのか。私は、単に国に対してだけ、政治不信があるのではな
いと思っている。これは、役場の職員に対しても道の職員に対しても、今ほど不信が募っているとは思
う。それだけにお尋ねしたい。

町長 今、中小商店の経営者はどんな悩み、苦しみを抱えているのか、どんな状況に置かれているのか、長期化する経済の低迷や新食糧法の施行等、町民生活が大きな影響を受けている状況については、掘議員の発議のとおりと認識している。このような現状認識を深める中から、町民生活の安定、向上を目指して行政を進めるための努力をしていきたい。

保育行政について
問 保育行政を本当に子供の立場に立って、健やかに育てていくような、よりふさわしい施設になっているのだろうか。私どもの地域の保育所は、一番先に建った保育所以外の地域にある保育所に自慢のできる保育所でしたが、相当、老朽化し、トイレも水洗ではな
なと思っている。私どもの地域は、子供の数が減って、学

校が閉鎖されるのではないかと、という悩みさえ持って、毎日を過している。ひよっとして、あそこは閉鎖しなければならぬから、水洗化も遅くする、壊れたものの手入れもしない、こういうことにな
っていかどうか。幼児教育の展望を、さらに濃密にする立場でお答えをいただきたい。

町長 保育施設の整備充実、ますます重要と考えている。しかし、また一方では、幼児の減少している地域と増加している地域があり、保育所の運営が課題となっており、今後、父母のご理解を得ながら施設整備と保育所機能の充実を図りたい。
また、保育所の水洗化につきましては、十カ所の保育所のうち、五カ所について水洗化をしているが、今後、整備計画も含め、保育所の水洗化を前向きに検討していく。

学校施設の整備について
問 雨が降ったら中学校では、バケツを持って走り回るとい
う噂を聞いている。一般の家庭で、今、雨が降ったらバケツを持って走り回る家庭があるんでしょうか。自分自身も小学生時代、高等科時代、青年時代を振り返って、そん

な施設しかつくない町政を信頼する子供は、いないと思
う。

だから、私は少なくとも当別町の教育全体を、当別一二〇年の歴史の中で、教育を大事にしたいという歴史にふさわしい教育施設にして欲しい
ということが一つと、いま一つは、本当に教育長や校長先生方がおっしゃるように、当別の中学校にいじめが一つもないと、信じてよいのか。

町長 後ほど、教育委員会から答弁を申し上げますが、学校施設の整備については、教育委員会と十分協議をしながら、適切な対応を進めてまいりたい。

教育長 現在、学んでいる子供たちが、快適な環境の中で学んでいけるよう、今後、計画的な施設設備の整備に努めるよう、十分考慮していき
たい。
次に、いじめの問題ですが、残念ながら一歩間違えると、大きな問題にまで発展するよう
な子供間のトラブルは、時々発生している。幸いにし
て、父母、学校、地域の方々の連携や適切な対応と指導のもとで大事に至らず、短期的に解決しているのが現状と、認識している。

今後とも、指導体制の強化を指示するとともに、家庭、学校、地域等の関係機関が心の通じ合う連携を一層強め、問題発生
の未然防止と、万一発生した場合、迅速な対応に努める決意を新たにしている。

授業の指導方法の改善と授業の充実を図るために

問 担任の先生方が、例えばわずかな子供たち、十分教育についていけない子供たちの面倒を見るのに、時間や暇をかけることができない。という
のは、先生方も定められた人数の中で、教育をやらなけ



おそい春に進まぬ農業

ればならない。そして、この受験地獄の中で、少なくとも当別の中学校や西当別の中学校に定数外の教員を配置をして、そういう指導を強化しながら、他の町村にないようなすばらしい教育も行う、そういう必要性に迫られているん
ではないかという提起を含めて、答弁を求めます。

教育長 授業中の指導方法の改善と、授業の充実を図るため、平成五年度から当別小学校、中学校に各一名ずつの定員外の教員が、増員されている。

このような制度を広げていただくように、今後とも働きかけていきたい。
農業施策等に援助を
問 今、新食糧法のもとで当別の基幹産業である農業に従事する農家の皆さん方は、本
当に不安の毎日を送っている。そういう状況を踏まえて町長は、昨年、土地改良事業に対して、道営事業に三%のガイドラインを、町費で負担をすることを回答された。農業の厳しさというのは、その程度の町の援助では、済まない状況にもあるし、国、道が行な
おうとしているいろいろな施策に対応して、町は他町村に
負けないだけのものをする農

平成 8 年度当別町各会計予算審査特別委員会

総額百七十二億五千二百七十七万七千円を 原案どおり可決する

町長から提出された平成八年度各会計予算は、関連議案と共に三月十一日本会議に上程され、提案理由説明後、全議員が構成する予算審査特別委員会に付託され、十一日(十八日(十六、十七日休会)まで審査し、その結果、各項目にわたり意見を付し、原案のとおり可決すべきものと決定、十八日の本会議に報告され、可決した。

- 委員長 村上 弘志議員
副委員長 内海 英徳議員
報告書起草委員 湯浅議員・菊崎議員
前次議員 小寺議員
後藤議員

一般会計	11,376,000 千円
老保会計	2,167,000 千円
国保会計	1,481,000 千円
下水道会計	1,185,000 千円
農集会計	69,000 千円
水道会計	975,707 千円
計	17,253,707 千円

総務費

柏樹、後藤、島田
堀、泉亭、川村(勇)
各委員

問 防災会議はどこまで進められるのか。
答 道の防災計画がかなりおこなわれている状況で、道からの指示では、当別町なりにまず段階で、修正をするようになっていく。

問 町民による自主防災組織

村に、土地改良に、援助をする気があるかないか。基本的な考え方を伺いたい。

町長 ガット・ウルグアイ・ラウンド、新食糧法の施行、新生産調整の実施等、非常に厳しい状況と受けとめていまして、積極的に振興を図る決意です。平成八年においても機械、施設等に対する単独事業も計画しているし、基盤整備事業の地元負担分の町負担について、それぞれ対応して

いる。

また、土地改良事業の農家負担を5%にしようという新たな制度も、平成八年より実施をされようとしている。町としても、農業者の負担が軽減される。この制度に対しても、関係機関、団体とも協議し、積極的に取り組んでまいりますし、農業農村の置かれている環境を十分認識して、関係機関との連携をさらに強化、振興を図る。

中小業者対策について
問 基幹産業の農業を大事にすると同時に、少なくとも当別の町の中小業者の人たちにささやかであつても、大きな手を差し伸べる、そういう施策が当別町に求められていると考えるので、少なくとも融資の問題であるとか、駐車場の問題であるとか、ごみを全部処理してあげるとか、いろいろの手だてを含めて、町長の考え方を伺いたい。

町長 中小企業特別融資制度を初め、駐車場、商店街の環境整備などの施策を講じてきたところですが、今年もできるだけ対応していきたいと考えている。

特に商工会には、平成八年度より当別町商工会まちづくり委員会が設置されることから、同委員会の提言を大事にしながら、早期に適切な対応をしていきたい。

づくりの方法は。

答 駐在員をとってお願ひする形をとっていききたい。

問 行政改革推進委員会の目的、委員構成は。

答 事務事業の見直し、時代に即応した組織・機構の見直し、定員管理及び給与の適正化の推進、効率的な行政運営と職員の能力開発の推進、行政の情報化の推進等による行政サービスの向上、会館等の公共施設の設置及び管理運営等が基本的な重点項目となっている。

又、委員については一般町民を代表した十名程度を考えている。

問 行政改革の大綱は。

答 平成六年十月付で自治省から指針が出ており、これを踏まえて当別町の大綱を作成していきたい。

問 食糧費は、対前年比どのくらい減となっているか。

答 対前年二九・二%の減。

問 交際費の主な用途は。

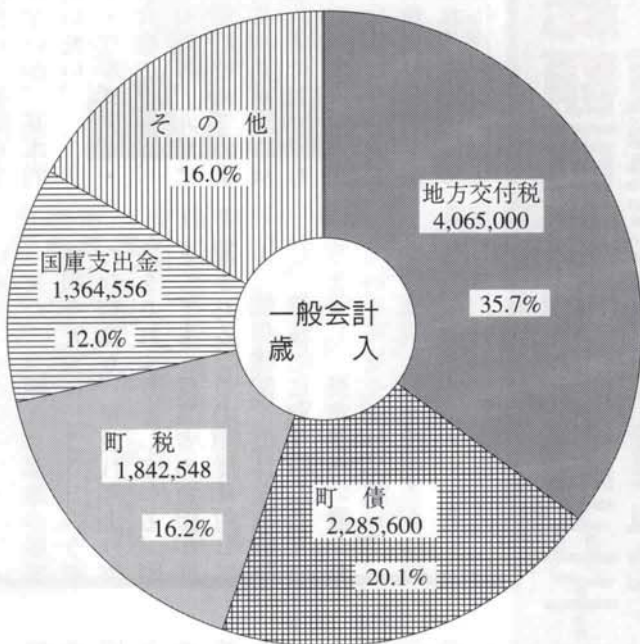
答 慶弔費、各種団体の総会等のお祝い金が主なものである。

問 政治家のパーティ券購入も交際費か。

答 そういうたぐいのものは町長が出席する場合、お祝いとして支出しているものもある。

平成8年度一般会計予算構成

(単位 千円)

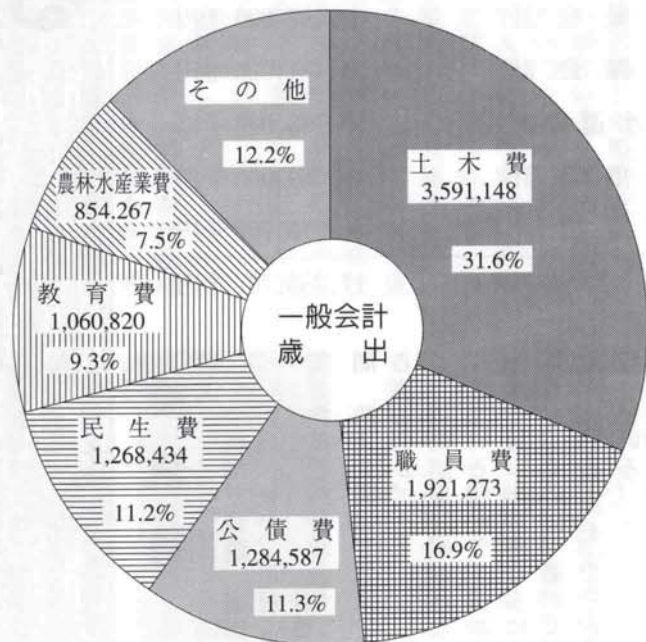


〔その他〕

・ 諸 収 入	461,742
・ 道 支 出 金	307,008
・ 地方議与税	258,115
・ 分担金及び負担金	234,993
・ 繰 入 金	145,046
・ 使用料及び手数料	115,645
・ ゴルフ場利用税交付金	110,542
・ 自動車取得税交付金	101,662
・ 繰 越 金	40,000
・ 利子割交付金	23,212
・ 財 産 収 入	14,427
・ 交通安全対策特別交付金	5,468
・ 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	280
・ 特別地方消費税交付金	155
・ 寄 付 金	1

〔その他〕

・ 衛 生 費	498,581
・ 総務費	344,753
・ 消防費	322,109
・ 議会費	140,928
・ 商工費	75,728
・ 予備費	8,928
・ 労働費	4,373
・ 災害復旧費	71



問 パーティー等のご祝儀は公職選挙法上問題はないのか。
 答 氏名を表示しなければ、違法ではない。
 問 北海道医療大学への補助金は、協定書で平成八年度三億円ではないのか。
 答 協定書の第四条に基づき協議し、平成八年度当初は、五、〇〇〇万円となりました。
 問 第四次総合開発計画を作成するのか。
 答 人口を見直すということは、新しい計画の策定に結びつくと考えている。
 問 平成七年度の北栄町会館の運営費が、ゼロとなっているが、なぜか。
 答 展示販売等に使用した場合は、有料となりますので、有料が多い場合、町補助金が未交付になる場合がある。
 問 人材育成基金の活用事業は、基金利子を財源としているが、低金利の今、運用は、どうなっているのか。
 答 今までの利子積立分を含めて、財源としている。
 問 北海道コミュニティ運動協会負担金が総務費で、仮称コミュニティセンター建設が教育費というのはなぜか。
 答 北海道コミュニティ運動協会は、全庁的なことなので

総務が窓口になって加盟している。仮称コミュニティセンターは、内容が教育的なものが多く、生涯教育に使う施設というところから教育委員会が担当している。

問 当別ダム生活再建対策補助金の使途は。

答 関係地域住民の組織等が生活再建対策、地域の振興対策、こういったものの調査、研究等を行う諸活動事業に対し、交付している。

問 固定資産評価審査委員会は、どのような活動をしているのか。

答 納税者から不服申し出があった時に、調査、口頭審理、その他の審査を行い、審査の決定を行う。

問 当別町農業所得運営協議会補助金の使途は。

答 主に、職員の給与費、臨時職員の給与費に充当する分を補助している。

公債費

柏樹委員

問 低金利の今、借りかえを考えているのか。

答 基本的には、政府資金、国庫資金については、借りかえは制度上認められない。縁故資金についても、融資先で

は非常に難色を示した経緯もあり、借りかえは難かしいと判断している。

民生費

川村(勇)、林、
竹田、堀、泉亭、
湯浅各委員

問 国保会計への繰出金は、保険税限度額をすえおくとしたら、いくら増となるか。

答 厚生省の示す一定のルールで繰出金を決定している中で、直接影響は出てこない。

問 西当別保育所のへき地から常設へ変更の試算をしているのか。

答 種々つめながら検討していきたい。

問 ねたきり老人の状況と老人ホーム待機者は何人いるのか。

答 ねたきり老人は十六人で、特養老人ホーム待機者は八人です。

問 ホームヘルパー担当人数、回数等は、他市町村と比較してどうか。

答 他市町村と比較して同程度となっているが、厚生省の指針からいくと低いため、平成八年度二名増をみている。

問 国の指導の何割程度か。
答 国では、週四回〜五回で

すが、町では三回です。
問 西当別保育所は、平成八年度に常設に変更しないとうことだが、どうなっているのか。又、場所等についても決めているのか。

答 現段階では、常設に変更へ向けて検討している。又、場所等については、現在地が考えられる。

問 西当別の幼稚園との関連も含め総合的な幼児教育についての考え方は。

答 新聞報道に、幼保一元化の動きがある。西当別保育所のあり方については、保育数を二〇人に増員し、現在地にと考えている。

問 入浴サービスの実態は。

答 老人ホームで入浴する方法が週一回程度、訪問入浴が月二回となっている。

問 老人ホーム入所者の一人一日あたりの賄材料費はいくらか。

答 平成七年度七五〇円だったが、平成八年度八〇〇円に増額している。

問 いきがい人材センターへの補助金は、増額されているのか。

答 前年度に比較して、設立当初の備品等の分が、減額している。

衛生費

青山、泉亭、島田、
川村(勇)、林、
小寺各委員

問 墓地整備内容は。

答 東裏墓地については、通路整備、高岡墓地については西側の未使用部分を整地し、区画をしていく。

問 根本的な整備は、出来ないのか。

答 墓地の大切さは、認識している。町内の主要墓地の整備については、それぞれ計画を立てながら進めている。

問 墓地の残数はどれくらいか。又、民間霊園への見解は。

答 残数は、三二一区画と、高岡墓地の整備する五十区画と考えている。又、町民の墓地は、町有墓地で対応することを基本とし、現時点では民間の誘致は考えていない。

問 当別太の墓地の今後は。

答 地盤が脆弱の為、拡大整備していく考えは、今のところないが、町民の使用に、希望に叶えるよう取り進めたい。

問 燃えないゴミの収集日をふやす事は出来ないのか。

答 北石狩衛生施設組合の受入体制もありますが、十分検討していきたい。

問 基本健康審査を通年実施に変更すべきである。
答 医師会と十分協議し、一定のシーズン実施としている。
問 ゴルフ場の水質検査の回数と調整池の調査は、どうなっているのか。
答 農薬散布後に調査をすることになっており、現在年三回行っている。又、調整池についての調査は、していない。

農林水産業費

島田、竹田、泉亭、
川村(勇)、堀各委員

問 花嫁対策の専門員は、どこに配置するのか。又、商業経営者に対しても利用できるのか。

答 専門員は、当別町花嫁推進対策協議会事務局である農業委員会事務局を考えている。又、商業についても同じ悩みを持っているので、平成八年度以降、現在の組織の中で検討していきたい。

問 農家個々から実際に相談があるのか。又、専門員は、資格者を採用か。

答 現在、相談員を配置しているが、相談は少ない。先例地を参考にして、専門員の配置を決めた。専門員について

問 基本健康審査を通年実施に変更すべきである。
答 医師会と十分協議し、一定のシーズン実施としている。
問 ゴルフ場の水質検査の回数と調整池の調査は、どうなっているのか。
答 農薬散布後に調査をすることになっており、現在年三回行っている。又、調整池についての調査は、していない。

は、資格はなく地域の有識者に依頼したい。

問 相談員と専門員の任務は。

答 相談員は、地域の方をお願いし、九名いる。

専門員は、一名で事務局に常駐し、相談員と連携を取り進めていく。

問 農業所得の内容はどうか。

答 集計の最中なので、結果が出ていない。

問 農業の作況は。

答 米については、作況指数一〇一、麦においては、災害があつたので対前年減と見込まれている。

問 地場産業の利用が地元でも、すぐ出来るように努めるべきと思うが。

答 地場産業の一つである花については、無人スタンドを設置しているが、更に利用できるように努めたい。

問 農村環境改善センターの部屋数及び利用状況は。

答 部屋数は、小研修室一、調理実習室一、多目的ホール一、大研修室一、和室三、となっている。

又、利用状況は、一、五六五件、四一、八六〇人となっている。

問 担い手育成基盤整備事業等の対象外事業の農家負担の軽減が出来るのか。又、機械

導入の内身は。

答 二十六日に道から説明に来るので詳細が判明するのでその後説明できる機械導入関係については、ゴムクローラ二台となっている。

労働費

島田委員

問 労働文化祭補助金の内容は。

答 北海道連合当別地区連合会への補助金で、内容は文化祭等、事業の実施に対する一部補助となっている。

問 勤労者福祉センターの利用状況は。

答 平成七年度で、三七二件で利用者は、八、五九一人となっている。

商工費

泉亭、柏樹各委員

問 商店の経済状況は、六年に比べて伸びたのか、縮んだのか。

答 確定申告等の大筋の傾向としては、現時点の推定で五〇%減と聞いている。

問 商工会の会員数は。

答 三六七戸で前年に比べ、十一戸増となっている。

土木費

泉亭、堀、川村(弘)、竹田、林、島田、川村(勇) 各委員

問 除雪委託費は、平成七年度と比べて伸びているのか。

答 ほぼ同額となっている。

問 今年は大変な大雪だったが、町に對しどのような苦情があつたか。

答 基本的には、午前七時までに終了する作業が遅れての苦情が多かつた。

問 私の方へは道路幅の苦情が多かつた。業務要領は、拡幅管理作業を行い、常に交通に支障のないようになっているが、実際はどうなのか。

答 今年の大雪で、拡幅管理作業が出来なく、町民の方に非常に迷惑をかけた事実もあつたと考えている。

問 委託業者の装備により、除雪状態にバラツキがある。

又、稼働時間が昨年より、九〇〇時間もオーバーした会社もあると聞くが、こういう状態が良いのか。

答 委託業者については、車両保有等を踏まえて指導してきたが、今年の異常降雪の為に住民に、迷惑をおかけし、心を痛めている。又、稼働時間

が三〇%もオーバーした事例も把握しており、本議会中に対応を進めていきたい。

問 パトロール、指導を強化し、苦情の多少により業務量の増減を図る自治体もあると言ふ。参考にすべきではないか。

答 多町村の事例も参考に、除雪の大切さについて今後も研究を重ねていきたい。

問 ダンプ借上料が札幌市より低いので、今年のように、当別でダンプが足りなくなつたのでは。

答 単価差ばかりが理由とは思いませんが、今後、近づける努力をしていきたい。

問 歩道ほどの程度あつて、どの程度除雪されたのか。

答 歩道延長は四四・七歳である。

問 道々と、町道では道々の方が先に除雪される。それは監督上の問題か、予算の問題か。

答 開発局、札幌土現と協議を行っているが、今年のような雪が多い場合には、対応しきれないこともあり、今後も協議を進めながら万全を期していきたい。

問 歩道除雪は、対前年比伸びているのか。

答 七年度実績の除雪となつ

ている。

問 今年を教訓に、歩道の除雪延長する考えはないか。

答 お年寄りや子供の通学及び通勤に配慮し、可能な限り必要経費については、前向きに補正予算で対応したい。

問 交差点の除雪はどうなっているのか。雪が盛り上り、事故につながる問題ではないか。

答 来年の除雪に向けては、道路管理者と協議を行ない、その様な事のない様除雪を進めたい。

問 当別駅南北連絡線の管理委託内容は。

答 自由通路の清掃、エレベーターの保守管理、壁時計の保守管理、火災報知器の管理となっている。

問 スウェーデンヒルズの町道管理委託の内容は。

答 スウェーデンヒルズ内の七・四七歳の路肩の草刈り、路面清掃、除雪、さらには排雪となっている。

問 スウェーデンヒルズ内の歩道除雪をするべきでないのか。

答 内部で検討させ、対応できるような努力をしたい。

問 当別駅と太美駅の駐輪場の管理先はどこか。

答 人材センターと考えてい

問 幸町の区画整理事業は、地域の方々の理解を得ているのか。

答 今年、換地設計準備です。この中で、地域の方々の意見も聞きながら作業を進めたい。

問 西町の減歩率はどのくらいだったか。

答 三〇・八九%

問 住民に示しているパンフレットには、換地設計準備は書いてないが、わかりやすく説明して欲しい。

答 平成八年度①で基本構想の策定という項目がありますが、現在の進捗状況は①番である。

問 排雪の定義は。

答 排雪というのは、ダンプ等の運搬車によって、雪を移動する作業と考えている。

問 スウェーデンヒルズで、排雪委託しているが、ダンプによる排雪作業は行っていないと聞くが。

答 雪を運搬車等で沢等へ持って行っている。

問 当別大通整備促進期成会会長で、都市計画審議会会長が、幸町の区画整理説明会に出席したのは、どういう理由か。

答 地権者という事で出席さ

れた。
問 当別大通整備期成会にないを期待して補助金を出すのか。

答 事業の早期実現に向け、地域での協力体制を作り上げるための住民意識の高揚等を進めるため、必要であると考えている。

問 期成会の性格を精査されたい。

答 大通事業は、非常に重要な事業であり、期成会と力を合わせて、早期実現に向けて努力して行きたい。

教育費

川村(勇)、泉亭、
島田、堀、竹田

各委員

問 スクールバスの路線ごとの賃借料と乗者数は。

答 青山中央地区九十八万七千七百七十円、金沢地区五十五万二千四百九十二円、弁ヶ別地区百三十三万二千八百二十円、高岡地区五十三万四千八百八十円、西当別地区の幼稚園バス八十八万二千五百四十四円、中小屋地区の冬期七十七万四千四百四十円、乗者数は、金沢地区十七名、弁ヶ別地区二十六名、青山中央地区四名、高岡地区二十七名である。

問 平成七年度の補正後の額より低いのはなぜか。又、弁ヶ別と高岡の借上料の差は何か。

答 交通安全対策用等として平成七年度補正しているの、通常運行分は昨年同様の運行ができる。又、弁ヶ別と高岡の関係だが、バスの年式の違いが借上料の差となっている。

問 高岡線のバスにスウェーデンヒルズの子供は、乗れる状態になっているのか。

答 乗る事になっているが、朝は時間帯とか乗車時間の関係で、実際には乗っていない。

問 スウェーデンヒルズの小学生五十三人のために、スクールバスを運行できないのか。

答 高岡線のバスに乗るようお願いしているが、朝は乗っていない。帰りのバスには、全員乗っている。徒歩や自転車通学が非常に困難であることは、十分理解しており、北洋交易とも十分協議しながら早い時期に結論を出していきたい。

問 スウェーデンヒルズの父兄から、西当別小学校へスクールバスの運行についての要望しているが、学校から委員会へ要望がきているか。

答 現時点では、きていない。

問 スウェーデンヒルズの通学路の指定は。

答 通学路の指定は、学校が指定しているので、委員会で言えることではない。

問 スウェーデンヒルズの通学路は、明示されているか。

答 バスに乗ることを前提にして通学路は指定されている。

問 スウェーデンヒルズに、早急にスクールバスを配置すべきだ。

答 朝の通学路の問題については、スクールバスを含めて、早急に検討したい。

問 遠隔地の子供は、補助金か、スクールバス対応となっている。スクールバスを検討するでは、引き下がれない。

答 新学期に間に合うよう対応したい。

問 各学校の除雪資金が少ないのではないか。

答 本年度のような異常降雪の場合は、補正等をお願いし、対応したい。

問 蔵岱小学校の職員玄関が、多少の雪でも壊れるという状況は、学校の構造に問題があるのでは。

答 カスガイで止めてあった状況でしたが、構造的な改善をし、接続する金物についても、特殊な補強金物を使っていきたい。

一般会計歳入

小寺、柏樹各委員

問 道路占用料に架空横断を入っている有線放送分は、入っているのか。

答 北電柱、北電の地下埋設管、NTT電柱管、北ガスの管路となっており、有線放送分は、無断占有となっている。

問 春日団地の駐車場使用料の区画数は。又、車庫証明は出せるのか。

答 十六台分、月二千元となっており。又、車庫証明の申請があれば、証明していく。

問 ビトエと材木川の配水機場の大型機場の業務委託の責任を受けている人は。又、四河川の樋門樋管の箇所数は。

答 両配水機場とも、管理用地課の職員が主調査員として石狩開発建設部に届出している。又、樋門樋管の数は、当別川十九カ所、材木川九カ所、パンケチュウベシナイ川が七カ所、第一茂平沢川が一カ所となっている。

問 税の滞納分について、平成七年度は一三%で、八年度は一五%と上昇しているが、その根拠は。

答 現在の実績が一六・四九%となっている。

問 地方交付税は、四・三％伸びを見ているか。

答 地方交付税は、国税五税が原資となっており、対前年五・三％の減と積算されている。しかし、大蔵、自治省との地方財政折衝により、交付税特別会計から三兆六千九百億円の借り入れをした中で、出口ベース、いわゆる地方への交付段階において、四・三％の増という形で確保がされた。

問 国は、単独事業を推奨し自治体の負担は増やすが、国自体は出さないと感じているか。

答 国庫支出金の一般財源化について、ここ数年、地方へのしわ寄せになって広がってきているというような状況として認識をしている。

問 今年のような豪雪の場合、単位費用等で要求しているのか。

答 特別交付税の特殊財政需要として要望している。

国民健康保険特別会計

柏樹、川村(勇) 各委員

問 医療費が伸びている原因は、一人当りか。それとも加増によるものか。

答 一人当り入院が七・一％増、外来三・八％増、医療費八・一％となっている。

問 一般会計からの繰出金の見解は。

答 保険税の徴収であるとか、歳入について努力した結果、医療費の伸びを含めて、全体的な措置が生じた場合は、国保運営協議会と相談しながら、適正な繰入れをしてきたと考えている。

問 保健施設費が今年度ゼロなのは、なぜか。

答 事業名が、保健事業費に

変わったので、科目変更となっている。

総括質疑

柏樹、堀、泉亭、林、島田 各委員

問 行政改革の考え方は

答 行政需要が確実に増大しており、事務等を改善し、行政の効率化、簡素化を進めたい。この行政改革推進に当たっては、部内で慎重に検討をし、町民の意見を取り入れ、法律的・実質的に推進すべきと考えている。

問 保育所長の手当は

答 所長は、業務全般を総括する立場から、管理職手当八％を支給し、この割合は管内的な状況から見ても妥当と考えている。

問 女性の登用は

答 男女雇用機会均等法で位置づけをされおり、その観点に立って行政を執行している。女性は今、あらゆる分野で活躍をされており、今後、益々社会的にも女性の地位が向上されるものと認識している。

問 新生産調整は

答 生産対策協議会を置いてお諮りし、一〇〇％達成するとの確認をいただき、ガイド

ラインを提示した。調整の推移を見ながら生産対策協議会にもお諮りをしていきたいと考えているし、達成に当たり、町の責任があると認識している。

問 森林組合に対する認識は

答 早期に執行体制の決定をいただき、一日も早く再建計画を樹立し、公益的機能を担う業務に専念できる森林組合として、再生するよう、道及び、石狩町、浜益村と連携をとりながら、さらに指導をしていきたい。

問 人口が増えたり、過疎、過密が顕著にあらわれるところは、お年寄りや子供に

寄せがいつているのが実態だと思ふ。今後、補正予算等も含めて、出された意見を基にして、さらに肉づけをして、この一年間の町政の執行に当たっていく決意を伺いたい。

答 予算審議の中で、ご意見をいただいた事柄について、内部で十分検討し、できるだけ実現に向けて方向で努力していきたい。

問 西当別小学校までの各団地児童通学路を短絡できるよう検討して欲しい。

答 学校と十分協議をしながら、内容を把握し、関係機関とも十分相談をしながら進め

たいと考えている。

問 コミセンの入札方法について。

答 一般競争入札、指名競争入札を含め、設計金額等を考慮して、今後検討していきたいと考えている。

問 工事完成保証人制度が談合の温床とも言われている。

答 工事完成保証人制度の見直しについて、どう考えているのか。

答 金銭又は、保障会社等への保障制度は、道内的には平成九年度を目途にして作業を進めるところであり、当別町も平成九年度を目途に作業中である。

問 土木の請負工事について、町長が予算決定する基本的な考え方は。

答 道路等の建設工事については、道路の性格や利用状況、又、町内の道路網としての必要性を総合的に判断し、さらに町内の方々の要望を踏まえて優先順位を定めている。

問 工事発注時期の遅れについて。

答 測量調査と設計が終ったからの発注となることから、計画初年度は遅れることになり、又、農地等の耕作状況によって発注の時期を定めている。



排雪作業は万全か

平成八年度

当別町各会計予算審査特別委員会報告

平成八年度当別町一般会計、老人保健特別会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計予算及び関連議案の審査について、平成八年三月十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十八日の六日間に亘り、慎重審査の結果、次の意見を付していづれも原案の通り可決すべきものと決定した。

記

近年における情報化の進展や産業の空洞化などと共に地方分権の進展により、広域行政をめぐる情勢は大きく変化してきており、役割と責任の問題が顕在化して来る状況にある。

また、雇用に対する不安や少子、高齢化社会への不安、豊かさの実感の欠如への不満など住民ニーズも多様化、高度化しており、これらに適切に対応していくことが求められている。

平成八年度も本町の厳しい財政状況の中からも、あらた

めて二十一世紀に向けた自由で活力ある当別町発展の創造に大胆に取り組むため、理事者は引き続き国、道等に対し、地方交付税、補助金の問題等、要求すべきものを明確にし、町村会などの組織を通じて、一層、強力に要請行動を推進されたい。

一般会計について

(一) 歳入について
 ・歳入総体については、前年度比三・〇%の伸びとなっている。

町債が歳入に占める割合は、二〇・一%であり、前年度対比一三・七%の増である。今後、財政計画に沿った適切な執行に努められたい。税については的確な課税客体の把握に務め、収納率の向上に努力されたい。

尚、町税等の滞納にかかる徴収事務については、税負担の公平化を期するため努力されているところであるが、更に厳正な態度で臨み収納率の向上に努力されたい。

(二) 歳出について

・前年度より三・〇%の伸びとなり、この主なものは、社会資本整備を重点に町民に密接に関連する事業であり、この執行に当っては、時代の変化を見据えて、町民の負担に十分応えるよう、効率的かつ的確な事務処理に向けて最善の努力をされたい。

イ. 総務費

・行政改革の推進は、自治省の指針で受益者負担の公平とか民間委託等を積極的に実施せよとの内容である。

これは真に前進的な改革につながるのか懸念されるものであり、町民が求める当別らしい自治体の業務を効率的、自主的に推進されるものとなるよう検討されたい。

・近年、大災害が多発している中、本町の地域性を考慮した避難場所の設定、日常的避難訓練等、住民の自主防災意識の高揚を含めた本町、防災計画の見直しに当っては、住民に不安を与えることのないよう、不測の事態に即した条件整備を推進されたい。

・北海道医療大学の存在意義と責任は大きいものがあると思われる。

医療等研究分野での自治体の受ける恩恵を促進すると共に学生及び大学関係者への種々のPRを通じた経済効果を考慮し、更に、町と大学の交流機会を拡充されたい。

・町内活動と全体的な活動を含む仮称コミュニティセンターと地域会館とは性格が違い、会館の存在しない地域も含め、今後、会館建設のありかたについて十分検討されたい。

・第三次総合計画の主要指標の人口を見直すことは、新計画に結びつくものであるが、北海道の第五期計画等、上位計画との整合性を考慮し、当別町の実態に即した「まちづくり」計画の策定となるよう検討されたい。

・男女機会均等法等からも今

後、女性の地位向上は高まるものと認識される。

職場で社会的に貢献する機会が均等である、婦人の地位の問題としてさらに検討されたい。

ロ. 民生費

・西当別地区の人口急増に伴う西当別へき地保育所の常設化の検討については、一定の認定基準等環境整備が必要であるが保育機能の充実を優先して、施設、定員数、場所の設定等、実情にあった計画づくりを進められたい。

ハ. 衛生費

・各地区の墓地の整備計画はあるが、年次計画のない墓地も含め、墓参の人達が不便、不快感の感じることのない、充実した環境整備が図られるよう努力されたい。

・各種健康検診計画は、保健意識の向上、疾病の早期発見等からも期間、年齢、男女を問わない受診可能な対応を、医師会等とも十分協議した中から、受診率向上と合わせ研究されたい。

ニ. 農林水産業費

・新生産調整目標面積の配分については、一〇〇%達成を基本に生産対策協議会の意見を尊重し、配分面積の調整については、集荷業者と連携を



常設化が検討されている西当別へき地保育所



熊谷議員が急逝

熊谷一哉議員（六十三歳）は、五月十八日堀江病院で逝去されました。

平成三年初当選以来、二期目で、現在産業常任委員会副委員長、学園都市線電化・複線化促進特別委員で、また議会広報特別委員等を歴任。議会活動に全力を傾注され町政推進に尽力されました。突然の逝去に対し心から、ご冥福をお祈り致します。

密にすると共に、町単独事業である特産物振興事業等の実施など、農業者が不安を抱くことなく営農に従事することが出来るよう最善の努力をされたい。

・当別町は、石狩北部森林組合の組合員であると共に補助団体、指導機関でもある。また、石狩町、浜益村も組合員であり、これら自治体と連携を密にし、組合員が一丸となった本組合の再建に、努力をされると共に一層の指導を強化されたい。

・花卉等、当別町の特産物を郵送等による方法で、広く町外にPRしようとする場合、当別町名の記入されたバック詰め等、町民が気軽に利用出

来る場の確保を、新しい領域として推進されることを検討されたい。

ホ・土木費

・今年の豪雪による除雪、排雪作業を教訓に、業者委託処理要領を適切に遂行する為、巡回等による指導を徹底すると共に、国道、道道との除雪等作業の連携を一層密にし、町民生活に支障のない車道、歩道の確保を維持するよう、先例地等の実施状況も勘案しながら、その運用に努められたい。

・幸町土地区画整理事業の実施については、都市計画道路、区画道路等の整備に伴う減歩率等、関係住民が十分、理解出来る説明を行うことはもち

ろんのこと、現在施工中の本通線新設橋との整合性に、くい違いがないよう万全を期せられたい。

・当別大通整備事業は、街路事業並びに町施行による土地区画整理事業で実施する旨、確認されているが、事業の重要性を整理認識され、地域住民の協力と理解を得る中で、本事業の早期実現を図るよう努力されたい。

へ・消防費

・石狩北部地区消防事務組合派遣議員と十分相談され、その執行には万全を期せられたい。

ト・教育費

・スウェーデンヒルズ内の小・中学生のスクールバス利用は高岡地区のバス利用から、現状の乗車時間帯の違い、あるいは長時間の乗車による不便があり、利用しにくい状況にある。

これらの地域の現状を適切に把握し、スウェーデンヒルズと西当別地区の学校を結ぶバス運行を、新年度から実施出来るよう早急に検討されたい。

老人保健特別会計

・本特別会計は、前年度当初予算に対比して、五・一％増の

二十一億六千七百万円となっている。

高齢化社会に対応した老人医療費の適正化対策が必要であり、今後も保健意識の高揚を図るとともに、適正な運営により老人福祉の推進について努力されたい。

国民健康保険特別会計

・本特別会計は、十四億八千百万円で、前年度当初予算に対比して、五・五％、金額にして七千七百万円の増となっている。

本町の国民健康保険事業は、医療費の増嵩、被保険者の急増等により、財政運営は非常にきびしいものがあるが、国民健康保険運営協議会の答申を尊重し、税収の確保に一層の努力を図られたい。

下水道事業特別会計

・本特別会計の予算は前年度当初予算に対して二・一％の増となっている。この予算の主なもの、管渠布設工事となっている。供用開始以来、住民の協力により現在の水洗化率は、八五・九％で順調な伸びを示しているが、なお一層の普及促進に努力し、快適な生活環境づくりに努められたい。

農業集落排水事業特別会計

・本特別会計は、前年度比六一・九％減となっている。

この予算の主なもの、施設の維持管理費と公債費であるが、引き続き適切な運営と生活環境の向上に努力されたい。

水道事業会計

・本会計は収益的収支で当年度純利益が二百二十六万五千円であり、資本的収支においては一億二千七百七十九万八千円の不足となっている。

収益的予算の主なもの、給水収益・手数料及び加入金、また、資本的予算においては過年度分損益勘定留保資金等で補填している。

本年度も更に、老朽管の整備を図り、有収率の向上と財政健全化のため努力されたい。

以上の通り報告したが、今後理事者をはじめ各職員において各部の連携と事務的資質の向上に努め、町民の期待に沿うよう研鑽されたい。

以上、本委員会の報告とする。

平成八年三月十八日
議長 谷保 茂一 様

平成八年度当別町
各会計予算審査特別委員会
委員長 村上 弘志

議案審議 第2回定例会

平成8年度一般会計予算 など20議案を可決

□ 保険給付費など五千六百三万四千円を増額し、歳入歳出予算総額は十四億七千七百七十九万七千円になりました。

□ 平成七年度当別町老人保健特別会計補正予算(第二号)

医療給付費など六千四百三十九万円を増額し、歳入歳出予算総額は二十一億三千二百十九万八千円になりました。

□ 平成七年度当別町下水道事業特別会計補正予算(第三号)

公共下水道費など三百五十八万三千円を減額し、歳入歳出予算総額は十億六千七百四十七万五千円になりました。

□ 平成七年度当別町農業集落排水事業特別会計補正予算(第三号)

公債費など五十一万二千元を減額し、歳入歳出予算総額は一億七千七百二十八万円になりました。

□ 平成七年度当別町水道事業会計補正予算(第四号)

収益的収入に水道料金等を増額し、同支出において退職手当組合特別負担金を増額しました。資本的収入において水道管移設工事補償金を減額

□ 平成七年度当別町国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

し、同支出において工事請負費を減額しました。

□ 平成八年度当別町一般会計予算 (別掲)

□ 当別町部設置条例の一部を改正する条例制定について
地籍調査の完了に伴い、經濟部の分掌事務のうち地籍に関する事項を企画部に移管し維持管理等の事務の継続を図るため、条例の一部を改正しました。

□ 当別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
時間外勤務手当等の算定基礎となる勤務一時間当たりの給与額の算出について改定するため、条例の一部を改正しました。

□ 当別町民交通傷害保障条例の一部を改正する条例制定について
社団法人日本損害保険協会の保険料の改正に伴い条例の一部を改正しました。

□ 平成八年度当別町国民健康保険特別会計予算 (別掲)

□ 当別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

国民健康保険税の課税限度額を改正するため、条例の一部を改正しました。

□ 平成八年度当別町老人保健特別会計予算 (別掲)

□ 平成八年度当別町下水道事業特別会計予算 (別掲)

□ 平成八年度当別町農業集落排水事業特別会計予算 (別掲)

□ 平成八年度当別町水道事業会計予算 (別掲)

□ 町の区域設定に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
字川下通の一部、字対雁通の一部、字東小川通の一部、字樺戸通の一部について、町の区域を新たに画したことに伴い、条例の一部を改正しました。

□ 当別町特別工業地区建築条例制定について

当別都市計画用途地域の變更に伴い、新たに指定する準工業地域の一部である特別工業地区内における建築物による環境の悪化を規制するため、条例を制定しました。

□ 平成七年度当別町一般会計補正予算(第九号)

除雪委託費五百九十九万円を増額し、歳入歳出予算総額百十五億四百八十四万九千円になりました。

□ 西当別小学校校舎増築工事(建築主体工事)請負契約について
工事請負契約を締結する提案がされ原案可決しました。

○ 方法 指名競争入札
○ 金額 二億七千二百九十九万五千円

○ 相手方 シゲハラ・辻野経
常建設共同企業体

第一回臨時会
H 8・2・22

□ 平成七年度当別町一般会計補正予算(第七号)

除排雪経費三千九百七十七万円を増額し、歳入歳出予算総額が、百十五億三千八百八十五万九千円になりました。

第2回定例会

一 般 質 問

四議員が、町長の政治姿勢、高齢者対策・防災対策・保健行政などについて町長の考えをたどしました。

一極化に向けて
当別・太美間に中間駅を



泉 亭 俊 彦 議 員

問 第四次総合計画の必要性は
この議会で町長から、第
四次総合計画を策定するとい
う答弁があったと、私は認識
しているが、間違っていない
かどうか、そして、その場合
はどういう手順を経て、第三
次総合計画を見直さなければ
ならないのか。

私自身を含めて、多くの町
民が、町長の考え方に理解で
きるよう、つまびらかにして
頂きたい。

町長 私は、新しい総合計画
を策定するとの考え方を、総
括質問で答えているところだ
が、当別町総合開発審議会及
び、町民の方々の貴重な意見
を大切に、当別町の将来像
を樹立して、施策の方向を明
らかにしていきたいと考えて
いる。

問 当別と太美との一極化す
るよう発展を考えるべきで
はないかと、私は思うが、た
とえばJRの当別と太美との
間に中間駅を設置した方が良
いと思うが、町長としては、
今の当別町、西当別地域と二
極化を考えていくのか、それ
とも一つの自治体として中間
駅なども作って、最終的には
一極化していくという考え
方があるのか。

町長 私のまちづくりの基本

は、一極化を目指すべきもの
であると考える。

また、当別・太美間に中間
駅をもつての一極化の質問も
あったが、学園都市線篠路鉄
道橋以北で一番長い区間でも
あるので、今後においてもJ
Rと協議検討する事項である
と考える。



跨線橋の開通時期は

問 将来の人口が増えると、そ
れに見合った水の保障は、今
のところないが、その事につ
いて、先にお尋ねした時にも、
答弁は広域水道企業団に調整
をお願いしたいというが、企
業団というのは、そういう自
治体の水の配分を、決定した
りするようなどころではない
と、企業長からも明言されて

は、
町長は、どういうふうに対
応しているかと考えているの
か。
又、当別には、農業用のた
め池があり、少なくとも茂平
沢にある農業用のダムは、今
後多用途に転用することは、
困難はあるが検討できると思
う。したがって、茂平沢と大
学駅と一体化した発展計画も
重要視する必要があるのでは
ないかと思うが、考え方を伺
いたい。

町長 十二月の定例会で一定
の答弁をしているが、増量は
あくまで当別町の問題であり
企業団が決定する事項でない
ことは、発議の通りである。

新しい計画策定と連動する
ことから、強く関係構成団体
に働きかけ、協議を進めてい
る。併せて、発議の農業用ダ
ム水利が多用途に可能性があ
るとのことから、この件に関
しては、関係機関とも協議し
ていきたい。

問 国や道に対しての陳情内容
は、

国や北海道に対し、町長
に就任して、当別町として具
体的にどういった陳情をされ
たか、特に町長としてどうい
うテーマをもって、政策課題を
もって運動しているのか、具

体的に件数あるいは内容等に
ついて、答弁を願いたい。

町長 平成五年度には、材木
沢二期工事早期着工に関する
陳情他、国に対して一件、平
成六年度に国道ロードヒー
ティング早期着工に関する陳
情他二件、道に対しては、北
海道当別保健所の存続に関す
る陳情他一件、又、平成七年
には国に対し、高度情報通信
基盤整備の推進に関する要望
他一件、道に対しては、公立
高等学校学区の見直しに関す
る要望などがある。

この他、石狩地方開発促進
期成会など、各市町村団体と
の連携のもとに、当別町の課
題解決の為に、各種事業につ
いても広く陳情活動を実施し
ている。

問 中山間地帯の総合整備事業
の適用を受けるよう努力を

問 総括質問で、町長は中山
間地帯の総合整備事業につ
いては、当別は対象外だとい
うふうな答弁であったが道で
は、法指定に準ずる地域の基
準を定めて執行しようという
考え方である。

当別町としては、十分研究
すべきだと思う。

中山間地帯の整備事業につ
いての取り組み意欲、あるい
は、それに見合うような活性

議 員 提 案

□JR 採用問題の早期解決を求める意見書
(議員提案)

※ 可 決 (満場一致)

(意見書提出)

□地方分権の推進に関する意見書(議員提案)

※ 可 決 (満場一致)

(意見書提出)

□住宅金融専門会社の不良債権処理問題に関する意見書(議員提案)

※ 可 決 (満場一致)

(意見書提出)

□日米地位協定の見直し並びに、沖縄駐留米軍実弾砲撃訓練地の北海道移転計画の撤回と沖縄における在日米軍基地の整理縮小を求める意見書(議員提案)

※ 可 決 (満場一致)

(意見書提出)

化計画があるかどうか。

町長 予算委員会の総括でも答弁をしているところだが、この事業の適用協議について、道が要件緩和に向けて、農林水産省と協議をしているとのことであり、当別町も適用されるなら、他の補助事業に比して、地元負担の軽減になることから、事業化については、研究をしていきたい。

町内会館の建設を

問 当別町の四十幾つかの駐在区の中で、まだ十以上の町内会が、町内活動をするよりどころになる会館がない、という状態は放任でできることではないと思う。

たとえば、スターライト町

内会などは、百数十戸ある町内会ですが、それぞれの住宅以外に、公共的な建物は一切建っていない、そういう町内会でどんな町内会活動ができるのか。

一つも公共的な施設がないような町内会への対応について、答弁を願いたい。

町長 現在、地域での要望の強いコミニティーセンター建設を最優先に進めており、要望のある町内会館を兼ね得る施設として計画し、配置等も協議されたと伺っている。

完成後は、積極的に町内会活動にも利用して頂き、その利用結果を踏まえて、総合的に判断し、検討させて頂きたい。

い。

都市計画の用途区域の指定 はいつ決定か

問 都市計画の用途区域の指定は、この三月で決定されるかどうか、又、当別町の都市計画審議会の委員というのは、十二名程だと思いが、新しく地域に指定されるところに住んでいる人の中では、どなたが委員になったのか。

町長 平成八年二月の北海道都市計画審議会を終え、今後北海道知事より承認通知を受け、今月下旬には、決定告示を予定している。

又、西部地域における新用途地域内からの委員ですが、本年三月一日より、太美町居住の山田洋行氏である。

諮問機関の委員任命基準は 公正か

問 町長の後援会長に、町の諮問機関の要職を、次から次と指名するようなことで、本当に公正か、公正な声が掌握できるものか。

それから、先の私の一般質問で繰り返しているところだが、行政改革の推進をして、一番目指そうとするところは人件費の軽減であるが、職員的能力を開発するような、公正な、そして全体の奉仕者である、町民の公僕であると

いう観点から人材の配置になつていくのかどうか、再度伺いたい。

町長 泉亭議員の総括質問に答弁をしているとおりその設置の目的、趣旨、性格等を判断して委員の任命をお願いしていきたい。

職員の人事配置に関する件ですが、今の社会情勢は、複雑多岐にわたつてきていますと同時に、行政に対する期待が高まっています。これらの行政需要に的確に答えていくために、私は、個々の職員の能力等を総合的に判断をしながら適材適所に人事配置を行っていききたい。

JRのビトエの跨線橋の供 用開始時期は

問 JRビトエの跨線橋は、今、建設中であるが、これはいつごろ完成して、二七五までは、何年の見通しなのか。

それから、あの跨線橋は将来JRが複線になった場合に対応できているかどうか。

町長 跨線橋については、現場架設は三月中旬から着工を予定していると聞いています。早ければ、十二月末に供用が開始されるのかも考えています。

又、二七五号タッチまでの工事については、用地買収の

予算状況により、明快には完成時期は示されていないので、今後も早期完成に向けて、関係機関へ働きかけを、進めたい。

又、ビトエ跨線橋のJR学園都市線複線化・電化対応については、工事施工上必要な余裕幅を確保して、設計施行を進めていると聞いています。

JR太美駅ホームの上屋を 早期設置を

問 先の議会でも他の議員さんから質問があったと思うが、石狩太美のプラットホームに屋根を設置して欲しいという住民要求について、JRと協議をするという答弁であったと思うが、その後、そのJRとの協議はされたのかどうかそして、今、どういう対応をしようとしているのか。

町長 昨年六月、島田議員から発議を頂き、私としても要望をしてまいりましたが、この三月六日にも、学園都市線電化・複線化促進特別委員会の方々と、JR北海道において、更に強く要望をしたところだが、順次整備中である旨、説明を受けたところです。

今後におきましても、強力に要望活動を実施してまいります。

高齢者対策に民間活力の導入する考えは



川村 勇 議員

交通安全と商店街の活性化のために

問 本通り商店街の現況を見ますと幅の狭い道路、商店の出入口につけて止まっている車、しかも、両方に車が止まっているときは、交差することや、真ん中を通行することさへままならない状態であると思います。幾ら商店の方々が営業上で力一杯の努力をされたとしても、現状では客足が少なくなるのは、いたしかたないことかなと感じるが、駐車場を増やすことや、一方通行とかは、すぐ出来ないのか。また、将来的には、対策として本通り商店街の道路拡幅は不可能なのか。

のとおり現状認識をしており、今後国道二七五号線と町道本通線へ通じる橋の完成により通行量は増大をするものと思われ、商工会とも協議をしながら適当な用地があれば、駐車場の設置を図ってほしい。また、本通り商店街の道路幅を拡幅することは、現時点では非常に困難な面があると考えている。

防災対策を万全に

問 奥尻の南西沖地震を始め、昨年一月の淡路・阪神大震災のように予期しない惨状をテレビや新聞報道で知り、大自然の猛威をしみじみと感じたものである。

当別町では、昨年避難場所等を指示したマップも配布され、住民も喜んでいて、と思うが、さらにきめ細かい対策をするには、災害時に最も注意しなければいけないよう



鉄橋の安全性は

な内容の心得帳のようなものを作って配布してはどうか、更に救命連絡通信等が緊急時でも即応できるように、きめ細かい、町内単位かあるいは、区単位の組織づくりも、早急に対処すべきではないか。

又、石狩川にかかるJR学園都市線の鉄橋の橋脚ですが、傷んで補修されていることは私も知っていますが近頃は、特に強い風や川の増水時には、運休や遅れなどいろいろな状況がある、現況です。

高齢者対策に民間活力を

問 老人憩いの家の機能を兼ね備えた高齢者福祉センター建設計画についてはどのような進められているか。目標年度と建設予定地を聞きたい。

又、寝たきり防止、痴呆対策など住民のニーズを情報として十分に取り入れ、それに対応したきめ細かいサービス

下水道事業について

問 平成七年度までの施設計画に対しての進捗状況と、六軒町などの未設置地域については、いつから事業の実施を行うのか。又、農村地域における水洗式トイレの普及事業は、どのように考えているか。

町長 防災に対する心得帳に

町長 高齢者福祉センター、

町長 施設全体計画に対する平成七年度までの整備進捗率は、約五〇%となっています。六軒町地区は、町道柴田農場線までは、整備済みであります。以北の二番地橋までの区域につきましては、都市計画用途地域指定との関連もありませんので、年次的に整合を図りながら認可の拡大を行い、普及率の向上に努力する。又、農村地域における水洗式トイレ普及事業については、

生活排水を適正に処理し、水環境を保全するための対策が急務となっている。合併処理浄化槽の事業については、現在、担当課において検討をさせていますし、北石狩衛生施設組合におきましても、五カ町村の生活排水処理計画を本年度計画しているほか、これらの整合性を図りながら検討しなければならない状況となっている。

町長の後援会活動について
問 町長の後援会が毎年開催している行事に、建設会社の社長さんや町内会長が多数参加していると聞いていますが、会社の社長や町内会長が参加しない場合でも差別をしないか。
町長 私の後援会活動の件ですが、私としては、プレッシャーや差別をした行動はとっていない。

さ十五軒から三十一軒までの建築物は二十三棟あり、そのうち、マンションと呼ばれている共同住宅は八棟となっている。共同住宅については、消防法及び建築基準法に基づき、屋外避難階段及びベランダに設置されている避難ハッチ、避難はしごによる二方向避難路の確保とともに、三階から屋上までのそれぞれの階ごとに、消防隊の仕様基準に適合する連結送水管の設備等がなされ、万一の場合の入居者の安全確保が図られている。

に入れないければとの答弁があったと聞いており、所信表明との差は、どのように受けとめることが必要なのか。
教育長 当別川南側に適正規模の学校を建築し、教育環境の整備を図る基本的な考え方は、変わっていない。現状では、東裏、蔵岱、川下小の三校の児童数の推移は、平成八年から平成十三年までの六年間で、七十四人から三十人に減少することから、統合校を作っても、各学年が十人以下となり、複式学級を想定する数である。又、当別小学校の校区である当別川南地区の推移は、六年間で一三九人から一一七人が見込まれ、徐々に減少する傾向だが、しかし、栄町地区の宅地造成等、当別川南地区は大きく変わり、児童数が増加することも予想されるので、将来にわたる検討を加え、地域の方々の理解をいただきながら、進めたい。

高層建築物等に対する 防災対策は万全か



湯浅 俊一 議員

町道の所有権移転処理状況について



増加している高層建築物

問 私が平成元年十二月議会の一一般質問の中で、町道に寄付された土地の中に、登記未了のまま経過したものがあり、指摘をしたことがありましたが、その後どのようなになっているか。

町長 平成元年度以降、八十路線で二五名の地権者から十三万七千二百平方メートルの寄付申し込みにかかわる所有権移転を、行ってきたおりますが、すべての土地の処理は、終了していない。湯浅議員が平成元年に一般質問で示された土地についても、まだ処理されておらず、関係地権者のご理解をいただきながら、早急に対応したい。

防災対策について

問 答弁は不要だが、私どもが心配しますのは、町道がある大きな消防車等がまいるにもかかわらず、幅員が十分あるのかどうか懸念され、今後、十分な対策を求める。

当別川南側の小学校建設計画について

問 第三次総合計画や教育長の所信表明の中で、老朽化の進む木造校舎や複式学級の解消は、本町の重要課題であり、当別川、南側地区の開発状況等を見きわめ、今後、各地域の方とも十分協議をし、計画を進める旨の表明があったが、昨年十二月十二日の教育予算等要望会議の中で、当別小学校への統合も考慮の中

に、取り入れられているか、取り入れられていかなければならないと言った発言があった、と言ったことについて、お伺いした。

問 私の先の質問の内容は、当別小学校に三校を受け入れることも考えの中に、取り入れられていかなければならないと言った発言があった、と言ったことについて、お伺いした。

つまり、第三次総合計画に載っていない方法を教育委員会が、PTA会長さんを初め、

町長 現在、当別町には、高層ビルが建設されるようになり、建築法の中、あるいは消防法の中では、どのような規制があるのか、そして、現在、町の態勢の中で、完全な対策が整えられているかと考えているのか。

町長 現在、当別町には、高層ビルが建設されるようになり、建築法の中、あるいは消防法の中では、どのような規制があるのか、そして、現在、町の態勢の中で、完全な対策が整えられているかと考えているのか。

町長 現在、当別町には、高層ビルが建設されるようになり、建築法の中、あるいは消防法の中では、どのような規制があるのか、そして、現在、町の態勢の中で、完全な対策が整えられているかと考えているのか。

そういう方々の前で、そのような発言をされたというのはどういう意図だったのか、一つの方針が定められているものを、簡単にほかにすりえかえていこうとするその意図は、何だったのか。

教育長 昨年十二月十二日の予算要望委員会で私が、誤解

を招くような発言をしたことに対し、その場で深くおわびを申し上げました。当別川南側に適正規模の学校を建築し、教育環境の整備を図る基本的な考え方は、変わっておりません。今後地域の方々と十分協議をしながら進めてまいりたい。

当別保健所存続に

ついでへの対応策は



柏樹 正 議員

町政は住民の声を基本に問 当別町も今、二万人の人口を抱えようとしているが、年間約千人以上の人たちが当別町から転出をし、更にそれを上回る人々が転入をする。したがって、四年間のうちには数千人の異動があることになり、町の広報紙や議会だより、あるいは町内会活動、様々な活動を通じて当別町を知る機会はあるものの、住民の声をよく聞くという行政としての姿勢は、今まで以上に

重要なことである。又、町政は、町長ひとりで行進むものではなく、町長公約の実現に職員との団結と資質もまた問われている。私は、それをなし得る手だて、基本姿勢について、伺いたい。

町長 平成八年度の所信でも申し上げましたとおり、どのような施策であっても行政のみで達成することは困難であり、さまざまな立場の人々が協力し合いながら、町民と一体となって町政を進めること

が、町政執行の基本と考えている。又、各種の施策を実施するに当たりまして、町民生活の安定と福祉の充実に向け、きめ細かな配慮をしながら、職員とともに今後とも事務的研鑽を重ね、一丸となって進めて行く。

当別保健所の存続について

問 九四年の七月に地域保健法が公布されて、その後厚生省通知が出されて、各地で保健所の機能解体、統廃合と市町村への保健所業務の押しつけの計画と準備が進められている。北海道も、各市町村保健センターを設置させて、保健所が今まで実施してきた母子保健を初めとする対人保健サービスのほとんどを、財政保障もないうまま、市町村に担わせようとしていると聞く。

北海道は、四十五ある保健所を二十一の保健所に統廃合し、保健所の質を変える。

つまり、保健所自体を管理事務所化しようとしている。こういう動向が今進められていることを、黙って放置しておくわけにはいかないと思うが、見解を伺いたい。

又、当別保健所管内の石狩町が市に昇格するということで、それと絡めて保健所の誘致運動をしているようである。

石狩町議会でも斎藤町長は、「全道的な保健所の再編整備など、それぞれ難しい状況にはあるが、関係機関に対し、より一層積極的な要請をしていく」と答えられている。移転を主張している訳ではないと信ずるが、管内の厚田や浜益等と共同して、理解を求めながら先に述べた再編の動きの中では、町長自身、対応を誤ってはいけないと思うが、



存続が望まれる当別保健所

町長の当別保健所に関する住民の期待に応えた、強化と存続についての決意を伺いたい。

町長 国は、平成六年七月に保健所法を抜本改正をした地域保健法が施行され、地域保

健を取り巻く環境の変化に対応した、保健サービスの受け手である住民ニーズにきめ細かな対応ができる態勢づくりを、目指したものと理解している。現在の保健所は、管轄区域を拡大し、四十五保健所を第二次保険医療圏の二十一保健所に位置づけし、各市町村に保健センターを設置し、住民に対するより充実した保健サービスを目指すものである。具体的なこととは、現時点では私としても十分な承知はしていないが、議員が心配されている点についても十分配慮し、近いうちに予定をされている、保健所運営協議会の中でも報告を受けながら、今後、主張すべきものは強く主張する。

又、本町としても、保健衛生行政の拠点として、保健所は重大な意義と役割を持つものであることから、存続されるよう平成六年八月十八日、道に強く陳情している。

又、石狩町の保健所誘致についてであるが、この問題とは別に運動を行っていると同っているが、保健所の存続等を含めて、この関係については、十分対応してまいらなければならないと思っている。

請願・陳情

第2回定例会

〔審査報告〕

〔建設常任委員会〕

◆高岡六号線改良舗装工事に
関する陳情書

陳情者

高岡町内会会長 松田 愿正
他十七名

〔総務常任委員会〕

◆寒冷地手当の削減に反対す
る請願書

〔意見書提出〕

請願団体

連合北海道当別地区連合会
会 長 小林 和歳

北教組石狩支部当別支会
支会長 西館和佳夫

紹介議員 村上 弘志
小寺 和昭

委 員 会

報 告 書

問 地域保健法が制定された
ねらいは、保健所の所管区域
の拡大と、保健所自体を保健
管理事務所化するという問題
です。国の責任自体が市町村
に移管することによって、
財政的な付与も十分行わない
とか、それぞれの市町村で行
う事業だということで、いろ
いろなサービスが、現実には

できないような危険性を十分
とらえる必要がある。特に、
当別町が保健所自体を市町村
の保健センター化にしないと
いう重大な決意を持っていた
だきたいと思う。石狩町の保
健所設置については、私は否定
をするものではない。複数の
保健所を配置する第二次医療
圏もあると、運動をしている

建設常任委員会

本委員会は、平成七年八月
四日、九月七日、十二月五日、
平成八年二月二十八日、町長、
助役、担当部課長の出席を求
め、説明を聴取し慎重審議の
結果、次のとおり報告する。

記

○高岡六号線改良舗装工事に
関する陳情書

本道路は、高岡地区の生活
道路、農作物搬出道路として

向きもある。

又、当別保健所に期待する
住民の寄せる要望、要求に十
分応えていくために、今の保
健所の機能を十分に強化する
ということと、その要求に応
えていくという立場で町長自
身がしっかりと、その決意で
臨んでいただきたい。

中心的な役割を担う重要道路
であるが、開墾道路として一
〇〇年近く経過し、車両交差
も困難な状況の中で公道とし
て利用している実態にある。
特に、札幌大橋、広域農道、
十四線道路の完成に伴い、一
般車両の通行も増加し、塵芥
に悩まされている地域住民の
実情は十分理解出来るので、
理事者は願意に添うよう努力
されたい。

本件、願意妥当と認め採択
することが適当と認めた。

平成八年二月二十八日

議 長 谷保 茂一 様
委員 長 村上 弘志

学園都市線電化・複線化

促進特別委員会中間報告

本委員会は、平成八年三月
四日、三月六日、委員会を開
催し、町長、助役、担当部課

長の出席を求め、説明を聴取

し慎重審議の結果、次のとお
り中間報告する。

記

本委員会は、三月十六日か
ら列車ダイヤ改正に伴う北海
道医療大学駅以北のワンマン
化について、三月六日、北海
道旅客鉄道株式会社に対し利
用者共々遺憾に思うと同時に
に、沿線住民の安全性の確立
と乗客のサービス向上に十分
なる対応を望む旨、強く要望
してきたところであるが、学
園都市線は本町発展の施策推
進にとって欠くことのできな
い主要な公的交通機関である
ことを深く認識し、引き続き
電化・複線化を上級官庁へ要
請行動をはかるよう理事者に
おいては、更に努力すべきで
ある。

平成八年三月六日

議 長 谷保 茂一 様
委員 長 川村 弘司

総務常任委員会

本委員会に付託された請願
について、平成八年三月十三
日、委員会を開催し、町長、
助役、担当部課長の出席を求
め、説明を聴取し慎重に審議
の結果、次のとおり報告する。

記

○寒冷地手当の削減に反対す
る請願書

人事院は、九五年の人の
際の報告で「寒冷地手当」の
見直しを九六年の勧告に向け
て行う方針を明らかにした。

この理由に「非支給地域と
の生計増嵩費」や「民間の支
給状況」などを見ながら適正
化をはかるとして寒冷地手当
を大幅に削減する方向で検討
していると伝えられており、
このことは北海道の公務員労
働者二十七万人余の生活に関
わるだけでなく、公務員労働
者の賃金に準拠している私立
学校教職員、農協、魚協職員、
政府・地方自治体関連団体職
員等とすべての働く者などに
も波及し、ひいては地域経済
に少なからぬ影響を及ぼすこ
とが懸念される。

人事院は、さらに今後、級
地区分の見直しも行うことを
示唆しており、寒冷地手当は
地方交付税の積算基礎にも
なっていることから、地方財
政への影響も懸念される。

よって、早急に意見書を送
付する必要があると判断し、
本件、願意妥当と認め採択す
ることを適当と認めた。

平成八年三月十三日
議 長 谷保 茂一 様
委員 長 小武 正寿

議 会 の し ゅ ん

3・1	議会運営委員会	4・19	議会運営委員会
3・4	産業常任委員会と商工会役員との懇談会	4・20	議員協議会
3・4	学園都市線電化・複線化促進特別委員会	4・22	産業常任委員会
3・6	学園都市線電化・複線化促進特別委員会	4・25	文教厚生常任委員会
3・8	議会運営委員会	4・30	建設常任委員会
3・8	議会運営委員会	5・8	総務常任委員会
3・8	第2回定例会 (12日～17日休会)	5・13	議会運営委員会
3・11	平成8年度各会計予算審査特別委員会	5・15	議員協議会
3・13	総務常任委員会	5・16	議会広報特別委員会
3・14	産業常任委員会	5・20	文教厚生常任委員会
3・26	総務常任委員会	5・21	建設常任委員会
3・26	議会運営委員会	5・23	議会広報特別委員会
4・12	総務常任委員会	5・27	広島町議会来庁

あ と が き

今年、記録的な大雪に見舞われ、やっ
と若木の芽ふくらむ春のきざしが見えは
じめたころの四月十九日、職員逮捕とい
う新聞報道で、衝撃が走り緊張する毎日
を過しており、今後、議会に与えられた使
命にもとづき、町民に疑惑を与えないよ
う議会として、一日も早く信頼回復に努
めておりますので、ご意見等をお寄せく
ださい。

皆様方と共に、まちづくりを考え、行動
したいと思います。